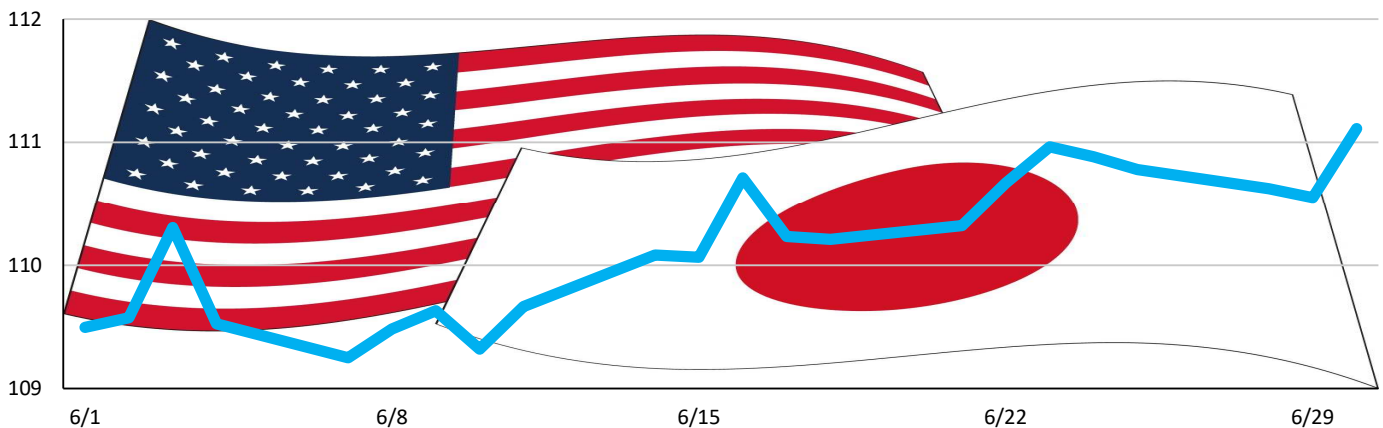


## MARKET REVIEW

**先月の振り返り：**6月のドル円相場は109円前半～111円前半で推移。米雇用統計を前に110円台を回復したドル円だったが、その米雇用統計の結果が市場予想を下回ったことで失望売りとなり、ドル円は109円台に逆戻り。その後はFOMCを控えて様子見ムードが続いていたが、FOMCでは2023年末までに2回の利上げが示唆され、経済の回復次第では利上げ開始時期が前倒しの可能性など、予想以上に強気姿勢が見受けられたことでドル買いが加速し、110円台を回復。その後も米国要人からドル高を後押しする強気な発言が相次いだことで111円台に乗せる動きになったが、新型コロナ（デルタ変異株）の拡がりを受けて、110円台半ばまで押されていたものの、米国の強い経済指標を背景にドル買いとなった。

(円) 米ドル円為替レート(終値ベース)



## EXTRA VISION

**今後の展開：**米国の強い経済指標などを背景にしたドル高の流れが続いており、年初来高値更新も時間の問題と思われるが、新型コロナウイルスに関して感染力が強くなった変異種の広がりに警戒しておきたい。特に南米を中心に広がりを見せているラムダ変異株は既存ワクチン効果が20%以下と指摘されるなど、感染拡大が危惧されている。そのためドル高をベースにポジションを構築しつつも、突発的な動きに対処できるようにしておきたいところだ。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
7 / 16 (金)	** : **	J P	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
7 / 22 (木)	20 : 45	E U	欧州中央銀行 (E C B) 政策金利	☆☆☆☆
7 / 29 (木)	3 : 00	U S	米連邦公開市場委員会 (F O M C)	☆☆☆☆☆
7 / 29 (木)	21 : 30	U S	米GDP速報値	☆☆☆☆
8 / 5 (木)	20 : 00	G B	英中銀政策金利	☆☆☆☆
8 / 6 (金)	21 : 30	U S	米雇用統計	☆☆☆☆☆
8 / 11 (水)	21 : 30	U S	消費者物価指数 (C P I)	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。